

世代交代



二十年以上慣れ親しんだ旧事務所から移転して、三度目の秋が訪れた。旧事務所の庭から移植した「ポポ」がたわわに実り、同伴犬メリーは毎日舌なめずりでおいしい「ポポ」の実の落下を待ち受けている。

新しい事務所は整備が進み、今年はベトナムから三世代のチャリティー仲間が滞在した。当初の現地医療活動を支えてくれた頃は、まだに二十歳前後であった女性が、既に責任世代としてベトナム復興の柱になり、今回の日越交流の中心となった。

若い学生たちと高齢世代を引き連れて来日したフォンは、初来日とは思えない手際よさで、我々を驚かせた。

そして日本側にも着実に存在感を示す若い世代が育ち、ベトナム側との繁雑な事務手続きを、多忙な仕事の合間に見事にこなして下さった。

今回は受け入れ準備にさえ集中していれば、あっという間に魔法の様にお客様たちが現れた。

これが「世代交代」という事かーと、納得した。

今までの様に、国境を越え 海を越える手続きに煩わされる事なく、待っているだけで懐かしい旧友たちが、賑やかな若い世代と共にやって来た。

NPO 会員たちの頑張りで、期間は短くても、すべての日程を達成した。



二十数年に及ぶチャリティー活動の歴史を振り返り、若い世代にヴィジュアルで伝える事が出来た。しかも 今回初めて 念願のベトナム語で「何故チャリティー活動をするのか」という事を伝える機会を得た。何十年も行動を共にして、信頼関係は出来ていても、言葉の壁に阻まれて 本音の話し合いが成立しにくかったのである。

チャリティーの中で成長し、それぞれの分野で立派に花ひらいている若者たちが、困っている人々の為に共に活動する事の素晴らしさをかみしめる、2017 チャリティーイベントであった。

戦災被害者、障害者、孤児、枯葉剤被害者に世代を越えて手を差し伸べるプランが話し合われた。また、施設見学も希望に沿って行われた。医療、福祉、教育、スポーツ、限られた時間でも皆が力を合わせて実現した。

新しい事務所を守る同伴犬は、友好の促進に大きな役割を果たした。

滞在中、全員が友情の広がりや深まりを実感し、大いに元気を分かち合えた。

こうして老若男女、海を越え、世代を超えて集いあえるのが、チャリティー活動であり、今着実に「世代交代」が進んでいる。

又 嬉しからずやー。

